

日本生物物理学会 第45回年会

附設 展示会

- ◆ 会 期 2007年(平成19年) 12月21日(金)～23日(日)
- ◆ 会 場 パシフィコ横浜 会議センター 3F
(横浜市西区みなとみらい1-1-1)
- ◆ 主 催 日本生物物理学会第45回年会
実行委員長
川戸 佳 (東京大学大学院総合文化研究科)
桑島 邦博 (岡崎統合バイオサイエンスセンター)

展示会
運 営

株式 会社 **エー・イー・企画**

E-mail : jbpexh@aeplan.co.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-8 昭文館ビル3F
TEL.03-3230-2744(代表) / FAX.03-3230-2479

日本生物物理学会第45回年会

ご挨拶

拝啓 貴社ますます御隆昌のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配によりまして、当学会の事業にご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、日本生物物理学会第45回年会を、2007年12月21日より23日までの3日間、パシフィコ横浜 会議センターを会場として開催する運びとなりました。現在 鋭意準備を進めているところでございます。

本年会には、全国の大学・国・公立・民間の研究機関等より約1,500～1,800名の研究者が集まり発表・討論されます。

当学会員の研究は、対象、手法とも多岐に渡りますが、近年の分子生物学的手法や光学的測定技術、さらに大量のデータを対象とする計算機の開発と発展によって、集団を取り扱う解析から、単分子を直接観察し、解析する方向へ大きく転換してきました。その中でも、高い精度を求められる計測システムの開発には、多くの会員が携わっております。

生物物理学会は、物理学や工学の実験手法や理論を基盤として、原子分子レベルから超分子、細胞、臓器、個体、生態系に至るあらゆる階層でのさまざまな生命機能や現象のメカニズムを解明し、その研究の発展を支えるべく研究者や技術者の交流の場として活動しております。生命機能や現象の計測技術を開発して生命機能の基本的なしくみを解明することは、生命の謎を解くという学術的な意義にとどまらず、先端医療、創薬、自然環境保護からナノテクノロジーに至るまで、幅広い応用分野での社会的貢献にも大きな期待がかけられております。

本年会では、附設展示会を、ポスターセッション会場と同一フロアーにおいて隣接し同時進行いたします。また、休憩・談話コーナーを設置し、情報交換ができるよう参加者および出展社の利便に配慮できるよう会場構成を計画いたしております。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、貴社ご自慢の各種製品を多数ご出展くださいますようお願い申し上げます。

なお、展示会運營業務は株式会社エー・イー企画に委託しておりますので、お問合わせ、お申込みは同社宛に直接御下命くださいますようお願い申し上げます。

敬具

2007年 2月

日本生物物理学会第45回年会 実行委員会
委員長

川戸 佳 (東京大学大学院総合文化研究科)

桑島 邦博 (岡崎統合バイオサイエンスセンター)

◆開催概要

- 名称 日本生物物理学会第45回年会
45th Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan
- 主催 日本生物物理学会第45回年会 実行委員会
- 期間 2007年(平成19年)12月21日(金)～23日(日)
- 会場 パシフィコ横浜 会議センター (220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1)

- 実行委員会

委員長	川戸 佳	東京大学大学院総合文化研究科
(※2007年2月現在)	委員長	桑島邦博 岡崎統合バイオサイエンスセンター

委員

伊倉 貞吉	東京医科歯科大学大学院疾患生命科学研究所	田之倉 優	東京大学大学院農学生命科学研究科
金子 邦彦	東京大学大学院総合文化研究科	津本 浩平	東京大学大学院新領域創成科学研究科
神谷 律	東京大学大学院理学系研究科	陶山 明	東京大学大学院総合文化研究科
北尾 彰朗	東京大学大学院分子細胞生物学研究所	豊島 近	東京大学大学院分子細胞生物学研究所
木寺 詔紀	横浜市立大学大学院総合理学研究科	豊島 陽子	東京大学大学院総合文化研究科
木下 一彦	早稲田大学理工学術院	中迫 雅由	慶應義塾大学理工学部
木下 賢吾	東京大学大学院医科学研究科	西坂 崇之	学習院大学理学部物理学科
栗栖 源嗣	東京大学大学院総合文化研究科	能瀬 総直	東京大学大学院新領域創成科学研究科
黒田 裕	東京農工大学工学部生命工学科	原田 慶恵	東京都医学研究機構 東京都臨床医学総合研究所
佐野 雅己	東京大学大学院理学系研究科	深田 吉孝	東京大学大学院理学系研究科
清水 謙多郎	東京大学大学院農学生命科学研究科	船津 高志	東京大学大学院薬学系研究科
神保 泰彦	東京大学大学院新領域創成科学研究科	村田 昌之	東京大学大学院総合文化研究科
須藤 和夫	東京大学大学院総合文化研究科	安田 賢二	東京医科歯科大学生体材料工学研究所
高野 光則	早稲田大学理工学術院	横山 茂之	東京大学大学院理学系研究科
田口 英樹	東京大学大学院新領域創成科学研究科	輪湖 博	早稲田大学理工学術院

◆プログラム 予定 - 2007年2月現在

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
12月21日(金)		シンポジウム		ランチョン セミナー		シンポジウム				
		一般発表(口頭発表)				一般発表(口頭発表) 奨励賞				
		ポスター 掲示							ポスター 討論	
		附設展示会								
12月22日(土)		シンポジウム		ランチョン セミナー		シンポジウム				
		一般発表(口頭発表)		男女共同参画 シンポジウム		一般発表(口頭発表)				
		ポスター 掲示							ポスター 討論	
		附設展示会								
12月23日(日)		シンポジウム		ランチョン セミナー			ミニ シンポジウム			
		一般発表(口頭発表)								
		ポスター 掲示				ポスター 討論				
		附設展示会								

※プログラムの詳細な時間は、年会HOMEPAGEに掲載しております。

◆ 出品要綱

展示会期 ※予定時間

2007年(平成19年) 12月21日(金) 10:00 ~ 18:00
 12月22日(土) 10:00 ~ 18:00
 12月23日(日) 10:00 ~ 16:00

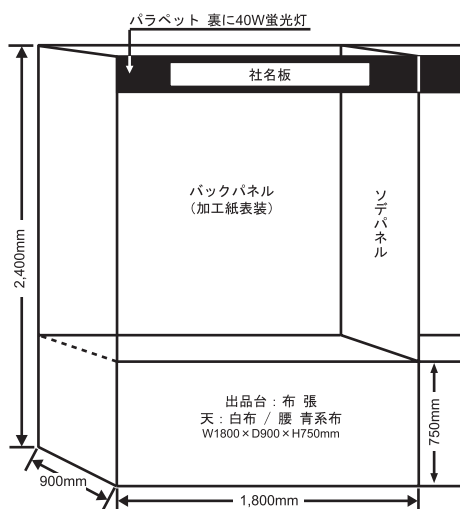
展示会場

パシフィコ横浜 会議センター3F
 (横浜市西区みなとみらい1-1-1)

小間規格と出品料金

◆Aタイプ(機器・試薬・ソフトウェア等)

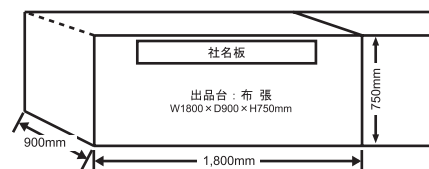
1小間: 189,000円



- ◎バックとソデはペニヤパネルを使用し、加工紙表装をします。出品台(W1,800×D900×H約750mm)は布にて覆います。折りたたみイス1脚
- ◎基礎小間には既設の展示台が付いておりますが、床面に直接機器類を設置したい場合には、申込書に出品台不要にご記入ください。

◆Bタイプ(書籍のみ)

1台: 63,000円



- ◎間口1,800mm×奥行900mm×高さ750mmのテーブルで、白布にて台上を覆い、腰は紺布で覆います。折りたたみイス1脚
- ◎バックとソデパネルは、付いておりません。

● 電力料金

電力(100V)ご使用の場合、電源仮設工事費および消費電力料金は出品者の負担になります。料金は下記の通りです。

500Wまで	31,500円
501W以上 1KWまで	36,750円

※ただし、1KW以上ご使用の場合は、1KW増すごとに10,500円を加算させていただきます。

※200V(三相・単相)をご使用の場合は、別途仮設となり割高になりますのでご了承ください。料金は会期後ご請求いたします。

※コンセントは、1KW毎に1個(2口)付属いたします。また、アースを必要とする場合には別途費用が掛かります。ご了承ください。

※上記出品料金及び電力料金は消費税(5%)を含んだ総額表示です。

◆ 展示関連機器

酵素作用・イオン分子識別・感覚・情報処理・遺伝・光合成・エネルギー変換・運動・行動

—— あらゆる生命活動のメカニズムを、電子や分子のレベルで、目で見ることがとくに、完全に理解することをめざす学際的ライフサイエンス —— これが生物物理学ですが、その研究過程において関連する高頻度使用機材は次のようです。

- 超遠心機、純水製造装置、細胞破砕器、ミキサー、ホモジナイザー、恒温槽、恒温室、フリーザー、滅菌器、分光光度計、デンストメーター、核磁気共鳴装置、NMRデータ解析ソフトウェア、電子・核二重共鳴装置、電子スピン共鳴装置、円二色性測定装置、蛍光光度計、蛍光寿命測定装置、サブピコ秒レーザ、ホトンカウンター、CCDカメラ、SITカメラ、ディテクターアレー、イメージインテンシファイアー、FT・ラマン分光光度計、FT・IR分光光度計、原子吸光、MAS(質量分析機)、FT-MAS、電子顕微鏡、光学顕微鏡、トンネル走査顕微鏡、原子間力顕微鏡、画像解析システム、顕微分光装置、コンピューター、セルソーター、高入力抵抗アンプ、レコーダー、トランジェントメモリー、各種コンピュータ(スーパーミニコン)、三次元コンピュータ・グラフィックスソフトウェア、画像処理システム、分子力場計算ソフトウェア、分子軌道計算ソフトウェア、各種クロマトグラフ、電気泳動装置、ポンプ、フラクションコレクター、スケーラー(天びん)、ガラス器具、pHメーター、イオン電極、試薬、薬剤、関連書籍等。

◆出品申込方法

- ①申込方法： 規定の申込書に必要事項をご記入の上、出品料金を添えてお申込みください。
※ただし、請求書が必要な場合は、お申込みの際「請求書の発行」にチェックをしてください。
請求書に記載する振込期日までにお振込ください。なお、振込手数料は出品者の負担となります。
- ②申込締切日： 平成19年9月20日(木)
※小間数に制限がありますので、お早めにお申込みください。
満小間になり次第締め切らせていただきます。
- ③申込先： 株式会社 エー・イー企画
日本生物物理学会第45回年会展示会係 担当：長瀬 仁／小島進一
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-8 昭文館ビル3F
TEL. 03-3230-2744(代表) / FAX. 03-3230-2479
E-mail : jbpexh@aeplan.co.jp
- ④振込銀行： 生物物理45展示会事務局
(フリガナ：セイブツツツリ45テンジカイジムキョク)
みずほ銀行 九段支店 普通預金 0000000
※振込手数料は出品者の負担となります。

◆小間の割当て

出品申込みを受付後、出品物の種類・形状・重量・小間数などを考慮の上、出品者にご通知申し上げます。
出品者説明会は行いませんのでご了承ください。

◆出品の変更・取消し

出品申込書の提出後は、実行委員会が不可抗力と認めた事故以外は取り消しできません。ただし、取り消しを認めた場合には、出品の変更、取り消しする旨を書面にてお送りいただき、受領した日を基準として出品料金をお支払いいただきます。

解約料金	9月20日迄に受領した場合…… 請求額(出品料金+消費税を含んだ金額)の50%の金額をお支払いいただきます。
	9月20日以降に受領した場合…… 請求額(出品料金+消費税を含んだ金額)の全額をお支払いいただきます。

◆展示出品台

基礎小間に既設出品台が付いておりますが、床面に直接機器類を設置したい場合は申込書に出品台不要のご記入をしてください。
なお、展示出品台の有無の変更は搬入日の2週間前までにお申出ください。

◆出品物の管理

各出品物の管理は出品者が責任をもつものとし、展示期間中の出品物の盗難・紛失・火災・損傷など、不可抗力による出品物の損害に対して、補償などの責任は一切負いませんのでご了承ください。

◆出品物の搬入・搬出の予定

細部につきましては、後日出品者にご通知申し上げます。

搬入 ▶ 2007年(平成19年) 12月20日(木) 14:00~18:00まで

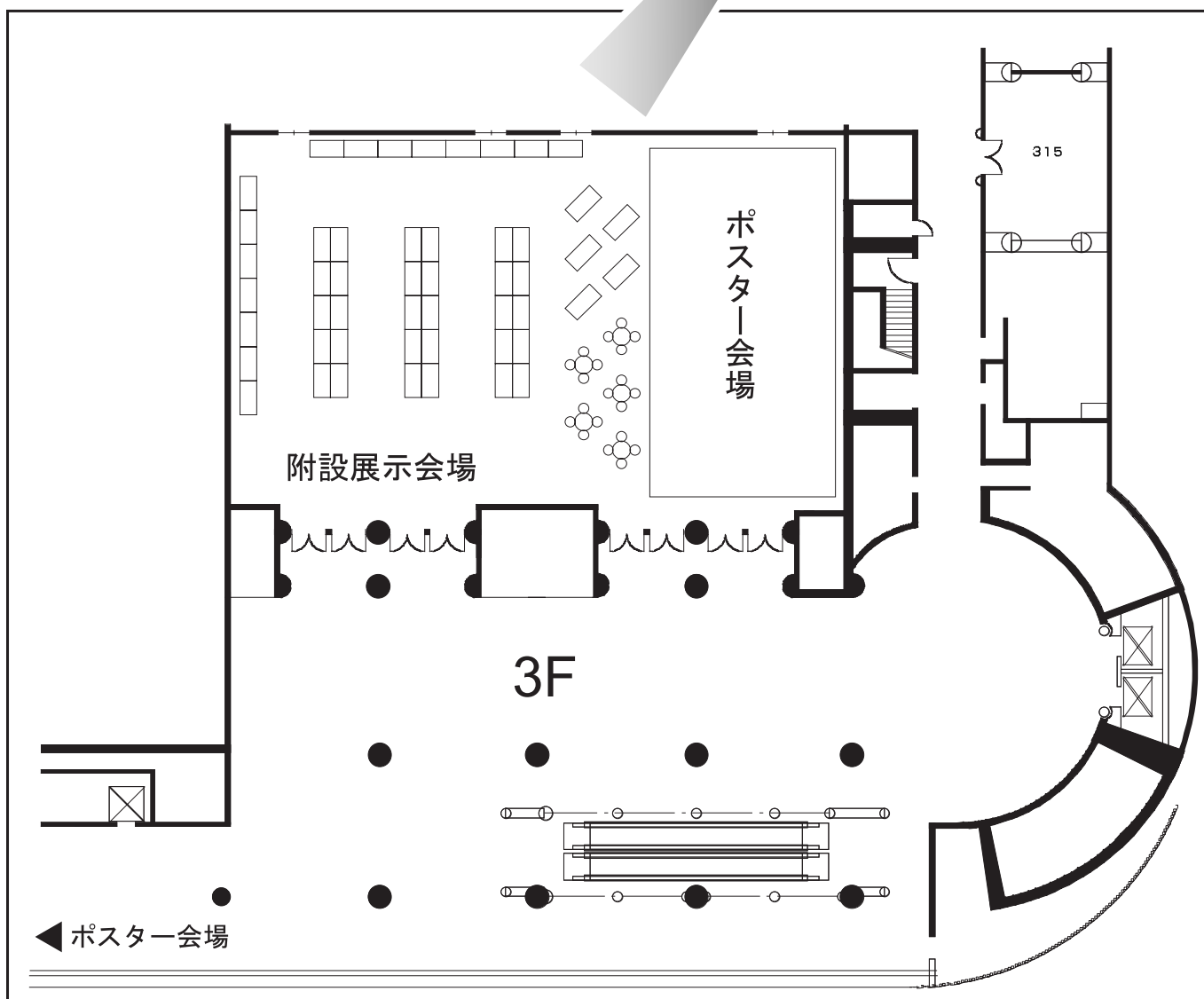
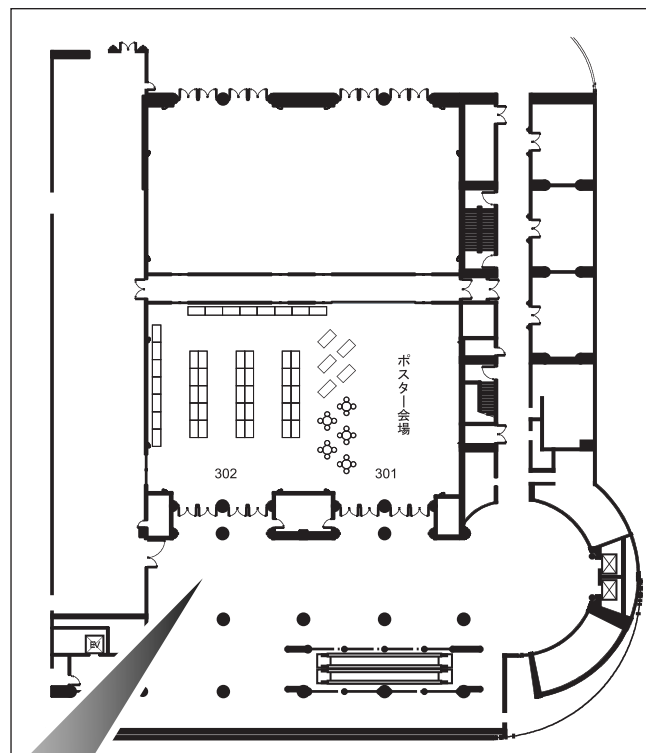
搬出 ▶ 2007年(平成19年) 12月23日(日) 16:00より

◆ 附設展示会場 小間割図案

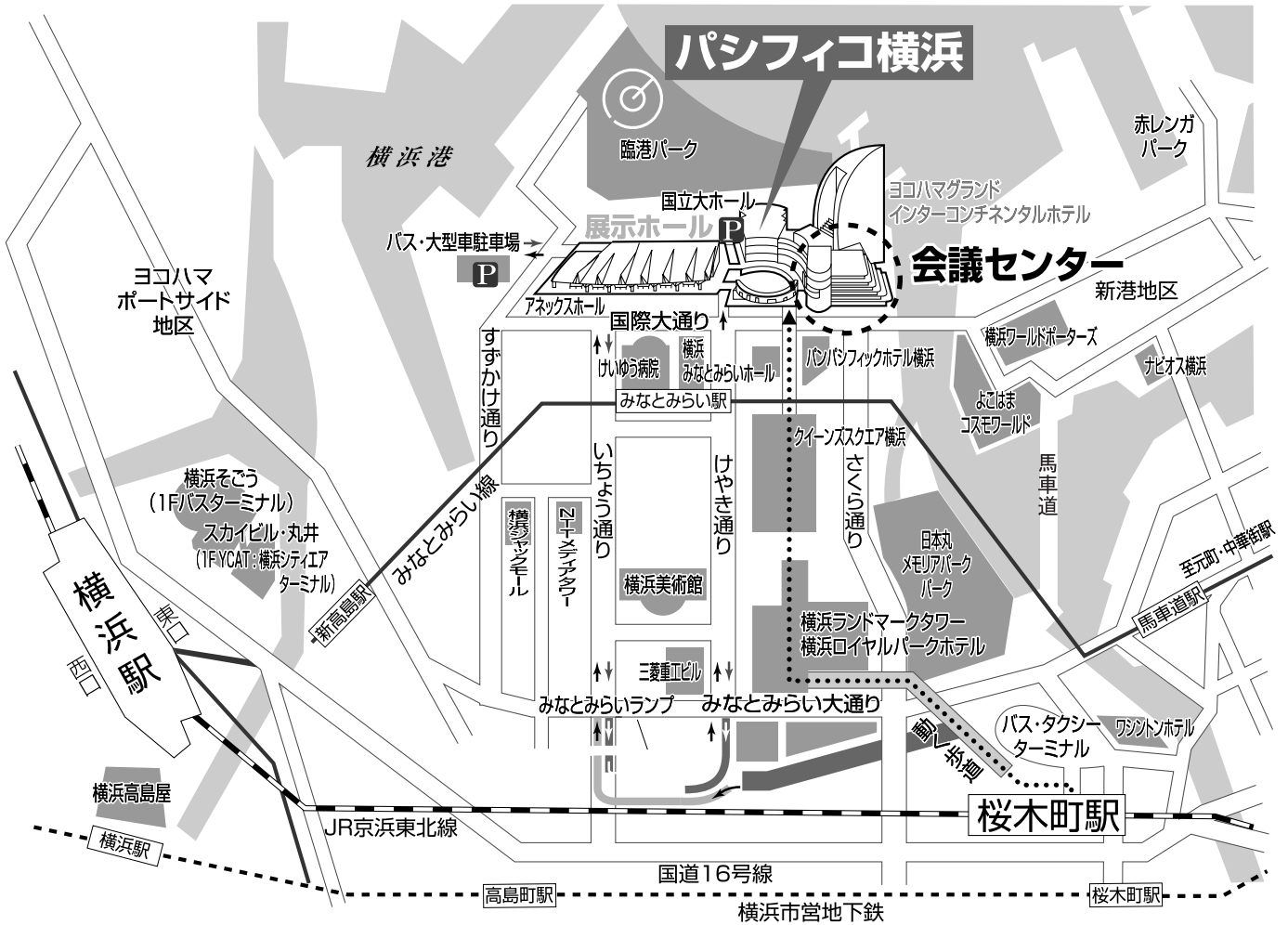
機器・試薬・ソフトウェア・書籍等

募集小間数:45小間

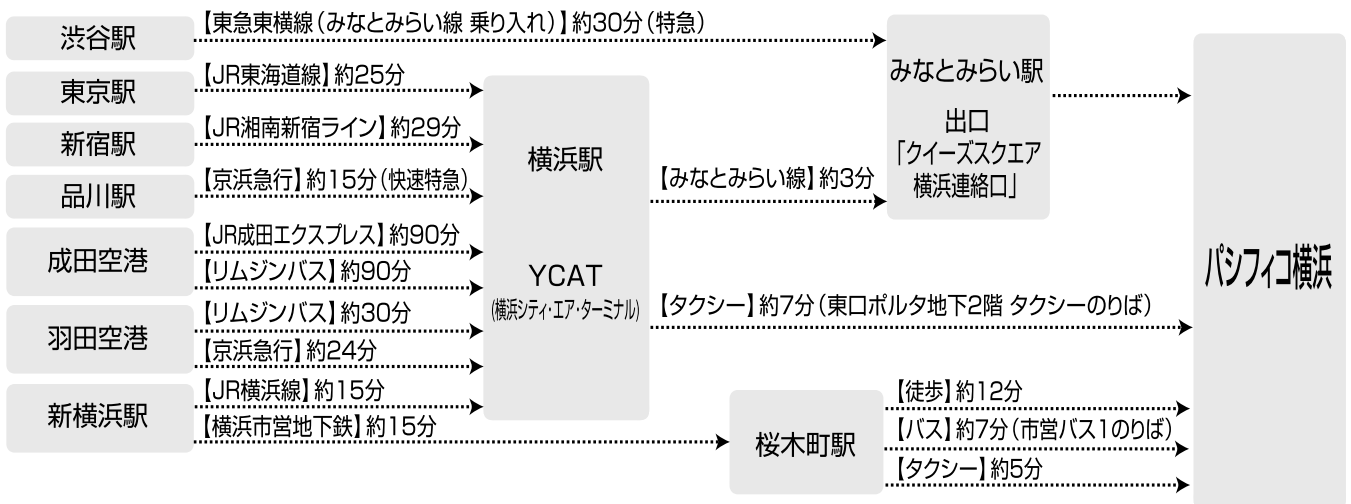
パシフィコ横浜 会議センター 3F



会場案内図



交通案内



自動車利用の場合

